

【日 時】令和3年5月25日〔火〕 19:00~19:53

【場 所】小松川第二中学校夜間学級仮設校舎 会議室

【主な内容】

1. 統合に係る諸課題について

- ・統合に係る諸課題の中でも特に優先して検討していく必要がある課題について再確認した。〔標準服の検討、体育着・通学鞆・上履きの検討、校章・校歌の検討〕

2. 新標準服のコンセプト案について

- ・前回の意見を受け再度、事務局案を提示し、最終決定。
3年間の学校生活を生徒が快適に過ごすことができる機能性を備えた標準服
ジェンダーレス、LGBTに対応した標準服
小松川中学校らしさ

3. 標準服業者決定までのスケジュールについて

- ・夏頃の業者決定を目指しスケジュール案を提示。
- ・今後、審査員の検討を行う必要があるため参考として葛西中と松江二中の例を紹介

4. 校章・校歌について

- ・次回以降、校章の検討を行うにあたって、事前資料として現在の校章と校歌とその成り立ちについての紹介

〔以下、意見交換内容〕

- ・このコンセプト案は業者に提示するというだけでよいか。
制服コンセプトは業者向けの資料ではあるが、アンケート結果を受けてコンセプトを決めたことについて保護者に通知できればと考えている。〔事務局〕
- ・新標準服でも、ウエストや丈の成長対応ができ、制服の買い替えを心配しなくてもいいようにしてほしい。
いかに機能性を高めつつ価格の上昇を抑えるかが選定に向けての大事なポイントになる。〔事務局〕
- ・コンセプトと一緒に制服アンケート結果を提示したほうが意見が新標準服に反映されるのではないかと。業者はおそらく区ホームページも参考にして提案すると思うが、統合準備委員会で決まった情報を通知したうえで業者の提案を受けたいと考えている。〔事務局〕
- ・コンセプトはこれでよいと思っている。区ホームページでアンケート結果やコンセプトを掲載する時は、学校からも発信していきたい。
- ・このコンセプトで業者に送ってよいと思う。細かく指定せずに提案を受けたほうがよい。

- ・コンセプトについてはこのままでよいと思っているが、成長段階の対応など、学校目線では分からない、家庭目線で求める機能性があり、それが予算内で収まるようにするという共通認識をもって選定していく必要がある。
- ・ブレザーになれば価格が上がると思う。一方で、保護者の方は安く、機能性があるものを求めると思うが、両方を求めるのは難しいと考えている。個人的な意見としてはせっかく制服をリニューアルするのであれば、まずは機能性や耐久性を重視して、その中で価格を抑えていくという方向性で選定を進めたい。
- ・小松川二中では通学鞆を変えた際、従来のものより価格は高くなったが、校名を入れていないので卒業後も使える点も含めて機能性の向上について説明し、理解してもらっている。制服についても成長対応の機能によって新しいものを買わずに済むので、3年間トータルでかかる費用は抑えることができるという点も含めて考えればいいのではないかと思う。
- ・制服を買う時は1サイズまたは2サイズ上のものを買うので、全員が買い替えや長さ調整を行うわけではない。成長には個人差があるので、子どもたち一人ひとりを対応するのは難しいのではないかと思う。
- ・コンセプト案については今回の会をもって決定してよろしいか。〔事務局〕
一同賛成

学校部会より報告

- ・学校部会の組織案を作成し、6月から正式に学校部会を立ち上げ、各部ごとに検討に入る。また、6月23日に合同研修会を行う際、通学鞆について両校の販売店からのプレゼンを受けて、決定したいと考えている。
- ・昨年度も生活指導部や教務部で動けるところは動いていたが、6月からは12の部会と1つの運営委員会で動いていく。学校部会の組織も念頭に置いて制服の検討メンバーも考えていく。
- ・小松川中学校は始まっているという認識を持ちましょうということ共有したい。今年の一年生は小松川一中校舎、小松川三中校舎、小松川二中夜間校舎で分かれてスタートしており、令和5年からスタートではないことついて再認識した。

PTA 部会

- ・一中ではPTA部会のメンバーとして、この統合準備委員会のメンバーと各役職から一人ずつ入ってもらい、5~6人のメンバーで組織していく。また、毎回は出れない場合は交代しながら役職同士で情報共有をしてもらうような形を考えている。
- ・三中では、この統合準備委員会のメンバーと役員を1~2人選ぼうと思っている。また、統合後も子どもが小松川中に在籍している家庭から選ぼうと考えている。

以上